



森林レンジャーあきる野新聞

Vol.4

2010年9月号

発行:森林レンジャーあきる野

サルギ尾根道標設置 (8月28日)



夏の締めくくりといえる大イベント、サルギ尾根の登山道補修を行いました。参加者は養沢自治会のみなさん、サポートレンジャー、森林レンジャーの精鋭18名。道標は、養沢神社から高岩山を経て上高岩山までの登山道約3kmの間に、11ヶ所設置しました。

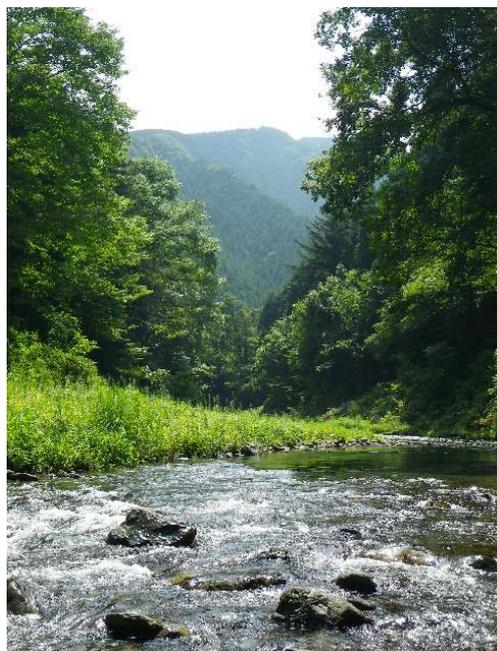
暑い中、大ハンマー、ノコギリ、鎌、支柱、道標等の道具を担いで上高岩山まで登り、道標を設置しながら下山するという大変な作業となりましたが、全て無事終了しました。途中にある炭焼き窯跡や上高岩山山頂付近も整備したので、見所のある登山を楽しむことができると思います。

その昔、サルギ尾根は養沢からの大岳山登拝路として使われていましたが、現在では登山者が少なくなり、一部に不明瞭な場所がありました。今回設置した道標は、登山者が遭難しないように、そして養沢地区に足を運んでもらいたいという地域の方々の想いが詰まった手作りの道標です。

道標を設置することは、安全な登山のためだけでなく、登山道を歩くことでこの山に自生する貴重な動植物を守る意味もあります。

みなさん、是非サルギ尾根と養沢へ足を運んでみてください。
(加瀬澤)

秋川溪谷調査 (8月26日)



あきる野と言ったら、やはり秋川溪谷ですね。

今年の夏は、二回に分けて秋川で調査とパトロールを行いました。人が沢山集まる場所だけではなく、静かな隠れ場所もあちこちにありました。動物も暑さに負けている様な感じで、川沿いに多くの昆虫などで溢れていた。水中では多種類の魚を確認しました。特にシマドジョウ、イワナ、マス、ヤマメ、アブラハヤ、ウグイ、アユ、カジカ、カワムツ、ハゼの仲間などが見られました。夏には川がいいですね。
(パブロ)



夏の終り

この夏も秋川溪谷は来訪者が多かったようです。皆さんが、この素晴らしい場所を訪ねてくれるのは嬉しいのですが、やはり自然に影響が出てしまいますので心配しますね...
皆さん、ゴミをちゃんと持って帰りましょう。

レンジャーの日々

今回は、パブレンジャーが8月下旬から9月下旬までの活動内容と、その中で出会った動植物やあきる野の自然を紹介します。

<p>8月26・31日</p> <p>秋川溪谷調査</p> <p>行楽客で賑わう秋川の調査を行いました。真夏なので、冷たい水を浴びながら調査するのは嬉しいものです。</p>   <p>秋川に生息するカジカ(絶滅危惧種)</p>	<p>8月28日</p> <p>サルギ尾根整備</p> <p>登山ルート of 道標を設置しました。厳しい暑さと大量の荷物に加えて、大変な登り坂で、困難な作業でした。</p> 	
<p>8月30日</p> <p>戸倉地区の滝・沢調査</p> <p>秘密の大滝を確認！滝つぼには倒木が非常に多かったので、整理もして来ました。</p> 	<p>9月1日</p>  <p>菅生地区での倒木処理</p>	<p>9月2日</p> <p>刈寄山周辺調査</p> <p>多くの鳥類、両生類を確認できました。その他にも、哺乳類の足跡など、沢山の種類の生きものが確認できました。</p> 
<p>9月6日</p> <p>ナベワリ沢調査(養沢)</p> <p>昔は立派な作業道があったようですが、今は歩きにくい道となりました。長い間使用されていないわさび田の跡もありました。</p> 	<p>9月8日</p>  <p>刈寄川での両生類調査</p>	<p>9月9・10日</p> <p>軍道地区 景観整備</p> <p>過密で暗くなった沢沿いの沢山の木を切り倒して整備しました。明るくなった沢の流れのこれからの再生を期待しています。</p> 
<p>9月14日</p> <p><small>ふなこ</small> 舟子尾根調査</p> <p>戸倉地区の尾根道の状況を確認しました。竜山や古愛宕山を通過して、今熊山の登山道に出ました。ウルシは多かったですね...</p> 	<p>9月15日</p>  <p>瀬音の湯周辺での倒木処理</p>	<p>9月17日</p> <p><small>ひなたみね</small> 日向峰周辺整備</p> <p>刈寄川の下流で「自然を昔に戻す会」のメンバーと一緒に、草刈などの景観整備を行いました。人数が多かったので、作業がはかどりました。</p> 